



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子
いわぶち友
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所
関 徹
長者町11-26
24-2414
加藤 鋳一
宝徳仲田56
64-3941
菅井 巖
中楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

施設は経営困難適正な介護保険運営を

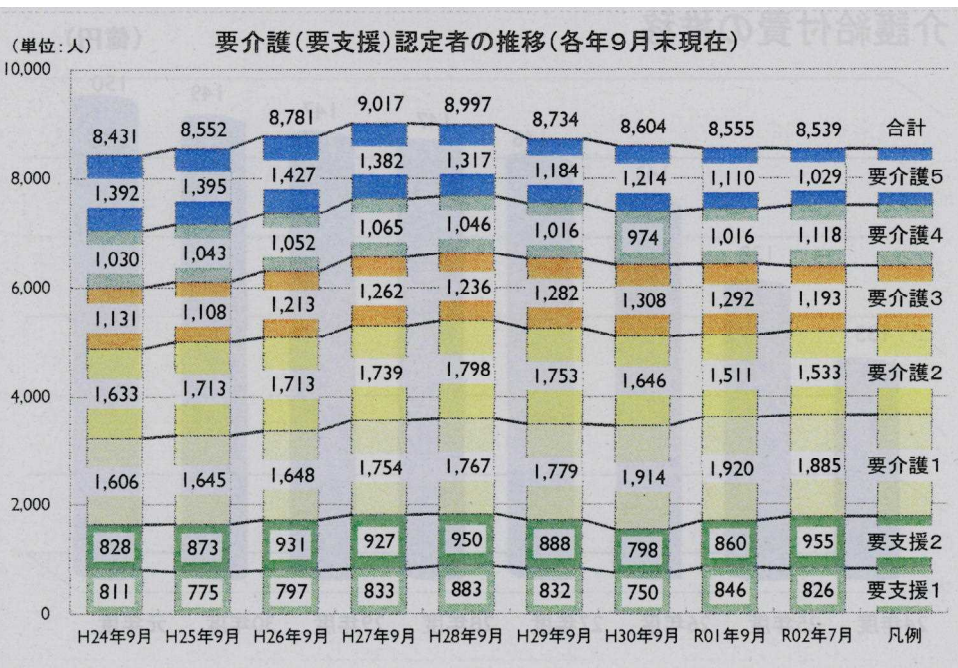
第1回鶴岡市介護保険事業計画等策定懇話会

令和2年度第1回鶴岡市介護保険事業計画等策定懇話会が8日、勤労者会館で開催されました。

長寿介護課から第7期介護保険事業計画の実施業況や、第8期介護保険事業計画等の策定、地域支援事業の事業見直しについて説明がありました。

前期高齢者の介護予防に対策必要

令和元年度に実施された介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の考察について、本市独自の項目を含めた報告がありました。



その中で、前期高齢者(65歳〜74歳)の要介護リスクについて、「健康づくりや介護予防、社会参加活動への関心や人との交流が少なくなることが読み取れるため、今後、後期高齢者となつてからの要介護リスクが高まること懸念されるため、対策が必要である。」等が指摘されています。

令和2年4月1日現在、特別養護老人ホームへの入所申込は、自宅待機者262人を含め730人となつており、介護老人保健施設への入所申込は146人との報告もありました。

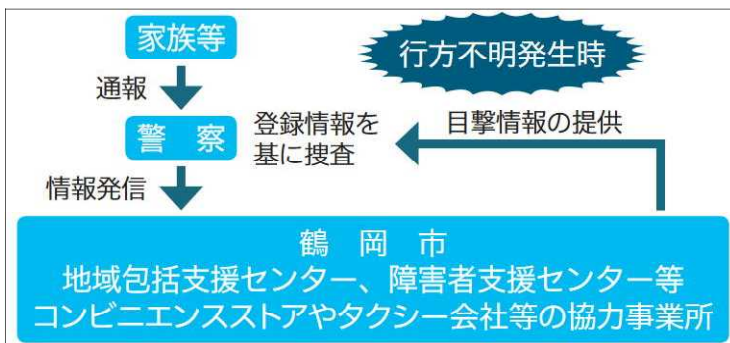
認知症ラベルシール更なる周知が必要

協議では委員から「認知症ラベルシール(どこシル伝言板)や安心カードはどのようなものなのか」質問が出されました。

市担当課から、認知症ラベルシールとは、「認知症の方の衣服等にQRコードが印字されたラベルシールを張り付け、発見者がスマートフォン等でQRコードを読み込むことで、位置情報や保護時の注意点を家族とやり取りし、迅速に保護するためのもの」安心カードは、「ひとり暮らし高齢者等の緊急時に備えるため、



認知症ラベルシールの見本



「見守りネット」や「支え合いネット」として行っているもの」との説明があり、「しかし委員すら認識がないとすると、今後更なる周知が必要になると捉えています」と述べられました。

施設の経営面も考慮し適正運営を

「介護保険制度の内容を理解できない人が増えている」、「要介護度の認定を見直しする際、認定が下げられサービスを利しづらくなっている」等の意見や要望が出されました。

長寿介護課課長は「介護保険制度開始の頃に比べ、ここ数年は一次審査を基に粛々と判定を行っている。今後も介護保険事業の適正な運営を行っていく」旨が述べられました。

菅井巖、坂本昌栄両市議が傍聴しました。

特別養護老人ホーム入所申込者(令和2年4月1日現在) (単位:人)

要介護度/居所	老健	療養型	医療機関	その他施設	自宅	合計
申請中、他	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	0	1	9	11	23
要介護2	8	0	3	10	12	33
要介護3	53	6	20	69	103	251
要介護4	64	6	27	52	74	223
要介護5	71	3	36	28	62	200
合計	198	15	87	168	262	730

介護老人保健施設入所申込者(令和2年4月1日現在) (単位:人)

要介護度/居所	老健	療養型	医療機関	その他施設	自宅	合計
申請中、他	-	0	0	0	0	0
要支援1	-	0	0	0	0	0
要支援2	-	0	0	0	0	0
要介護1	-	0	15	4	12	31
要介護2	-	0	16	13	15	44
要介護3	-	0	17	3	6	26
要介護4	-	0	9	6	10	25
要介護5	-	0	9	4	7	20
合計	0	0	66	30	50	146

資料: 第1回鶴岡市介護保険事業計画等策定懇話会(2020.10.08)から

避難所開設運営・コロナ感染症対応を訓練

田川コミセンで市総合防災訓練



避難所開設運営訓練の様子

水道の障害等も発生したと
して、情報収集や対策・対応指示・伝達等の対策本部訓練、地域住民による避難誘導、避難所設置や新型コロナウイルス感染症対応などが行われ

鶴岡市総合防災訓練

が11日、田川コミセン（旧田川小学校）体育館を会場に行われ、市議会・市民文教常任委員会の一員として菅井巖市議が参加しました。

訓練想定として、午前8時30分に庄内平野東縁断層帯の南部を震源とするマグニチュード6・9の地震（震度6強）が発生、人的被害、建物損壊、土砂災害や電気、上下

れました。

避難所開設では、田川地区自治振興会が中心となり、避難所運営委員会を設置。

住民が役割分担に基づき救護班、食料班、衛生環境班等8つの班体制を組織し、検温と健康チェック表の記入を経ての受け入れ、要配慮者、体調不良者に配慮したスペース確保・案内、段ボールベッドの組立とパーティション設置、食料物資の

受入や配布作業、簡易トイレの設置等が行われました。

新型コロナウイルス感染症の対応で、発熱者の隔離と検査、救急搬送の訓練が実施され、市との防災応援協定に基づいた団体や会社による食料・日常生活品の供給、電気自動車による電源

供給や電動ベッドなどの福祉用具提供・実演もされました。

訓練評価を行った特定非営利法人やまがた絆の架け橋ネットワークの早坂信一氏は、「訓練・練習を通じての気付きが大切」とし、避難受付時の安否確認や、避難所の衛生管理

などの重要性を指摘しました。

開催地の代表者挨拶で、田川地区自治振興会の眞田昭良会長は、「日頃からの訓練の積み重ねが大切と感じた。地域住民も貴重な体験となった」と述べました。

Web会議やネットでの資料活用求める意見

令和2年度郷土資料館運営委員会

令和2年度郷土資料

した。

館運営委員会が8日開かれ

協議では、委員から「図書館は、Wifi

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、4月5日から約1ヶ月にわたり休館しました。

やWebで会議ができる環境が整っているのか」との質問が出され、市全体で整備を目指しているものの、現在は整っていない旨の答弁がありました。

また、例年来館者数が増える2〜3月に、コロナの影響もあり、来館が減っているとの報告がありました。

また、「コロナの影響で外出も困難な状況になっており、ネット

また、収集庫の確保が大きな課題であると報告がありました。長谷川剛市議が傍聴参加しました。

20人学級展望し 県民運動広げる

「少人数学級をすすめる県民の会」発足

新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない状況の下、長い休校を経て再開した学校では、授業時間の増や夏休みの短縮など子どもたちや教職員への負担が増えています。

子ども一人ひとりと丁寧に関わることや子どもたちに寄り添うことが難しくなった」など悲痛な声も出されています。

「学校の新しい生活様式」が求められ「学校がつまらない」「学校に行きたくない」という子どもたちの声や、教職員からは「子

こうした声に押され、教育機関や自治体などから少人数学級を求める提言や要望が数多く出されています。このたび、山形県内でも「少人数学級をすすめる県民の会」が発

足し、18日に山形市内で発足集会が予定されています。

「会」では、子どもたちの成長発達を保障し、いのちと健康をまもる教育を実現するために、「20人学級」を展望した少人数学級をすすめることを目的に、県民運動をひろげ、「少人数学級の実施を求める全国署名」に取り組んでいく予定です。

日本共産党鶴岡市議団も賛同団体として参加しました。

朝日庁舎総務企画課入札結果（ ）内は予定価格	
10月8日入札分	
・市朝日庁舎敷地測量業務（下名川地内）（入札12業者）	
(有)安野測量事務所 1,850,000円 (1,945,000円) 期間~3/1/18 (落札率95.11%)	
建築課入札結果（ ）内は予定価格	
10月8日入札分	
・西郷地区農林活性化センター下水道接続工事（下川字龍花1-1）（入札8業者うち1業者辞退）	
羽黒設備(株) 2,200,000円 (2,380,000円) 工期~3/1/15 (落札率92.44%)	
・市営大西住宅4号棟南面外壁改修工事（大西町21番12、13）（入札3業者）	
日栄産業(有) 7,300,000円 (7,420,000円) 工期~3/1/15 (落札率98.38%)	
教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格	
10月8日入札分	
・市立京田小学校校舎棟屋根改修工事（高田字下村104番地）（入札15業者）	
(株)鈴木工務店 28,200,000円 (28,790,000円) 工期~3/1/15 (落札率97.95%)	
水道課入札結果（ ）内は予定価格	
10月13日入札分	
・長崎地内径150耗配水管他移設工事（長崎地内）（入札6業者うち2業者辞退）	
松田工業(株) 7,340,000円 (7,500,000円) 工期~11/30 (落札率97.87%)	